

2020年11月21日(土)

第39回東淀川区の在宅医療連携を考える会

企画・学術グループ 活動報告

中城和也 玉森修司 伊戸郷美 杉原友和
早川久美子 松田智子 近藤悟 小寺泰子
高澤洋子 阪本君代

①活動報告

2017年度

| 日程 | テーマ | 参加 |
|--------|---|-----|
| 5月20日 | 精神疾患とその支援について 障がい者相談支援センターの紹介 在宅医療・介護連携相談室の取り組みについて | 94名 |
| 8月5日 | 「サルコペニア・フレイル ～多職種連携におけるアプローチ～」 | 69名 |
| 10月28日 | 地域で暮らす独居高齢者の緊急対応について ・地域包括支援センター ・民生委員 ・消防救急対応 ・救急受け入れ病院 それぞれの立場から ・救急カプセル・緊急通報システムについて | 90名 |
| 2月3日 | 事例検討： 「キーパーソンがいない高齢者支援での医療・介護の役割と連携のあり方について考える」 | 61名 |

2018年度

| 日程 | テーマ | 参加 |
|--------|---|-----|
| 5月12日 | アドバンス・ケア・プランニング(ACP)について考える 『住民の価値観や希望を反映した医療・介護・福祉を行うために、 これから私たちにできることは？』 | 68名 |
| 8月4日 | ビデオ聴講 「Aging in Place(住み慣れた地域で暮らし続ける)を実現する 移行期支援」 大阪府入退院支援の手引き 解説 | 67名 |
| 10月13日 | 東淀川区での災害時の備えについて考える ・大阪北部地震の被災地での取り組みについて ・東淀川区の豪雨災害時に見えた課題 | 80名 |
| 2月2日 | その人らしさを尊重した意思決定支援 「アドバンス・ケア・プランニング ～いのちの終わりについて話し合いを始める～」 | 72名 |

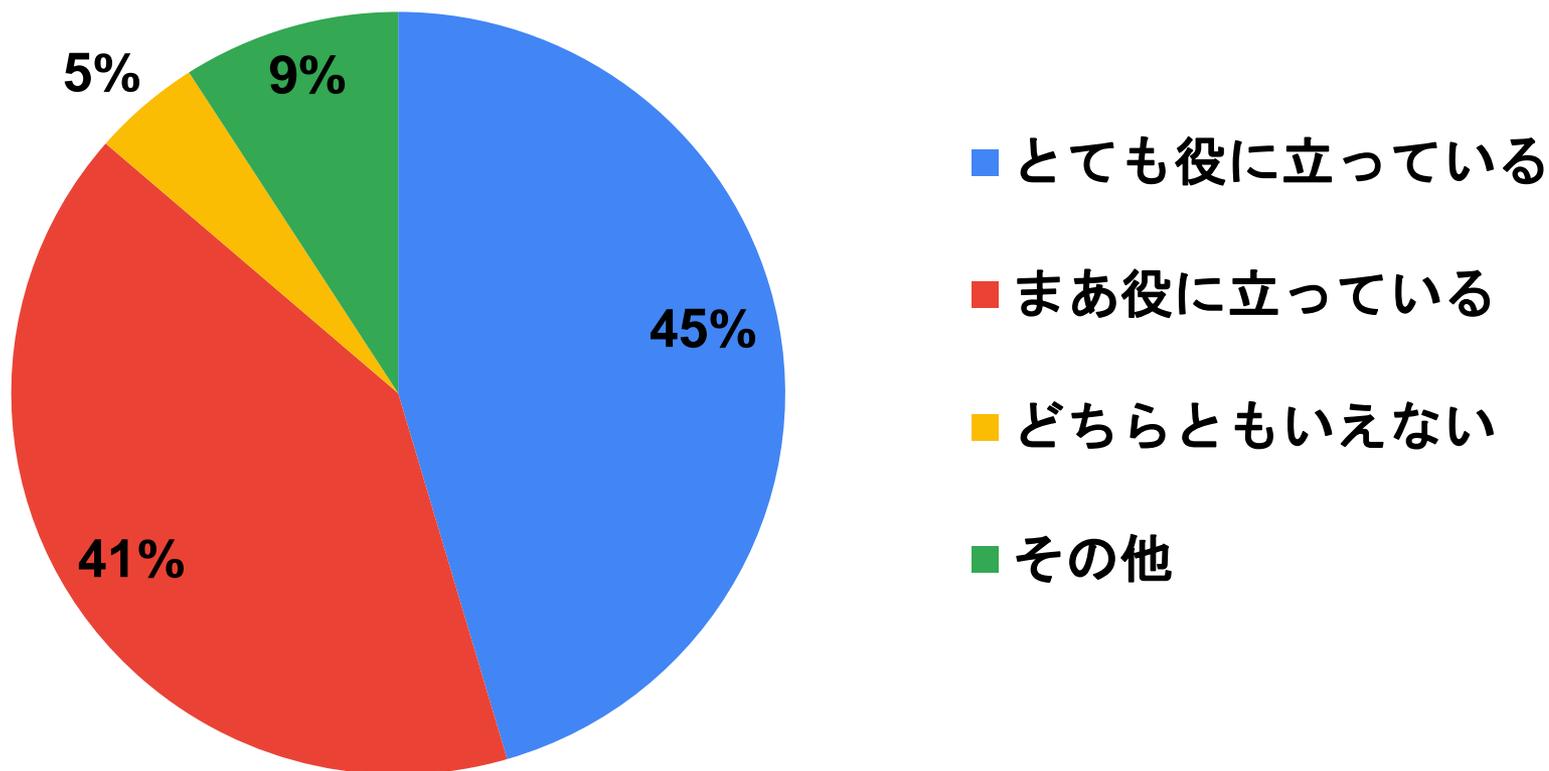
2019年度

| 日程 | テーマ | 参加 |
|--------|---|-----|
| 5月11日 | 豊中市におけるICTを用いた医療と介護の連携ソフトMCS (Medical Care Station)を活用した地域包括ケアでの情報共有 | 68名 |
| 8月24日 | 「地域の薬剤師との連携を考える」 | 56名 |
| 11月16日 | その人らしい生き方を支えるために ～アドバンス・ケア・プランニングを実践しよう～ もしバナゲームとディスカッション | 54名 |
| 2月1日 | 在宅ケアにおける利用者からのハラスメントについて考える ～訪問看護師の経験から～ | 48名 |

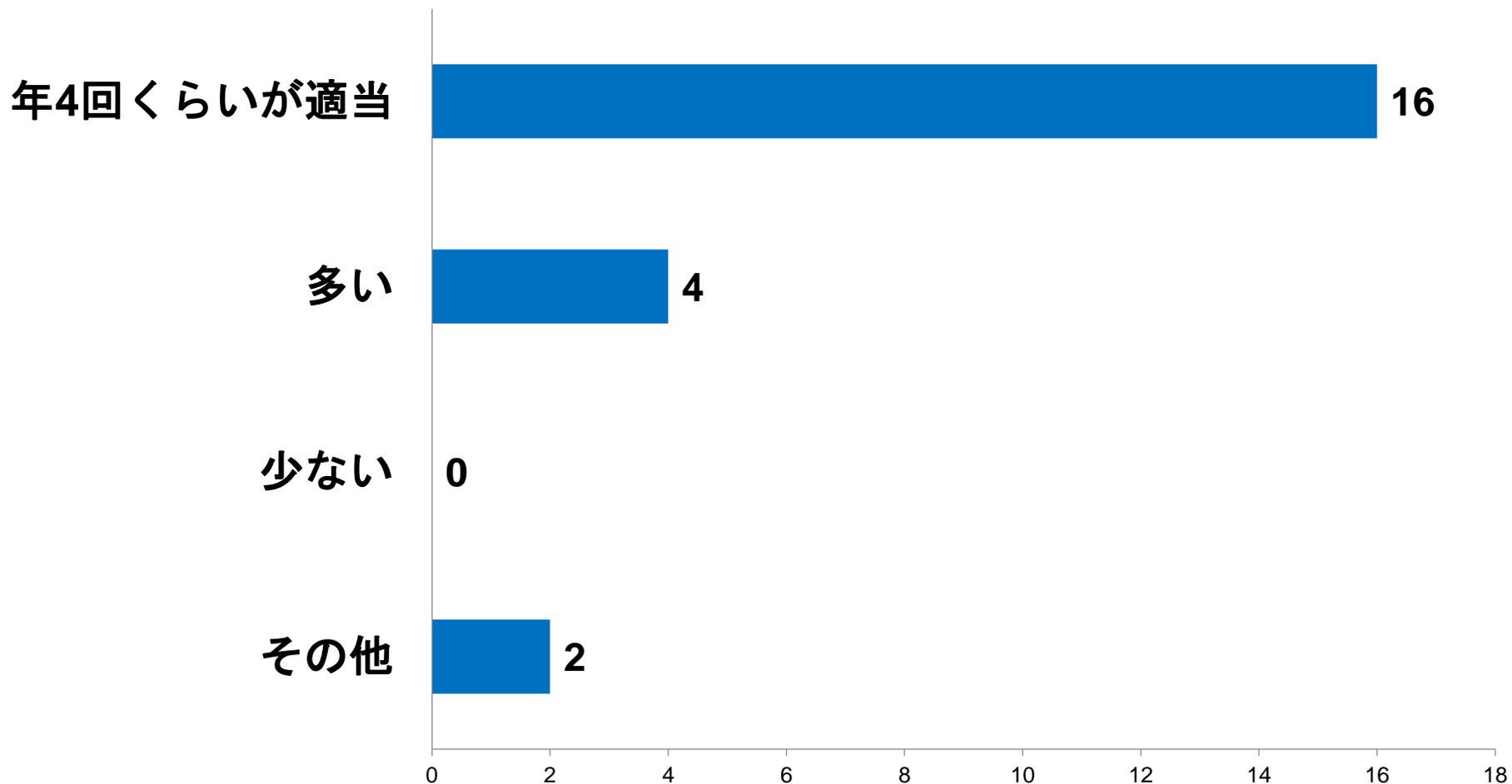
②アンケート結果

n=22

Q1、考える会の内容は役に立っていますか

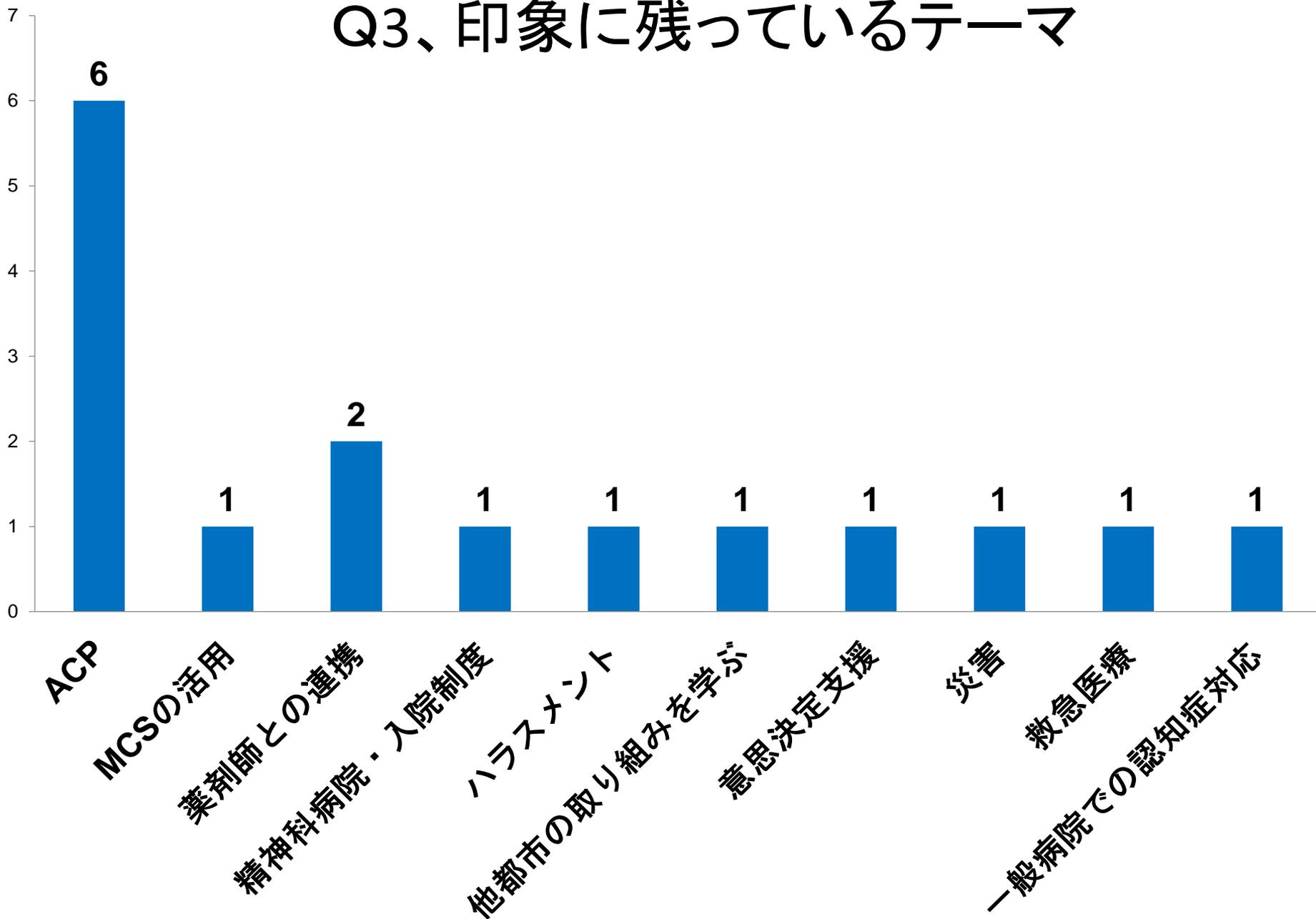


Q2、考える会の頻度



※うち1回は区役所の在宅医療・介護連携推進事業が担当してはどうか

Q3、印象に残っているテーマ



Q4、取り上げてほしいテーマ

- 各団体からの活動報告
- 区内の病院の役割・機能紹介
- 災害への備え
- with corona時代の医療介護連携コロナ渦での連携
- 服薬管理でのMCSの活用
- MCSでの訪問医療の推進
- 医療職に知ってほしい介護の知識、
介護職に知ってほしい医療の知識
- 支援拒否事例の介入方法
- ACPについて
- フレイル
- 入院と在宅医療の本人苦痛を比較

③活動を通じて感じたこと

- 顔が見えて、相談ができる関係を築けている
- 連携が取りやすくなり、地域貢献に繋がっている
- 参加者の日頃の業務や取り組みに役立っている
- 考える会の頻度も、それほど負担にはなっていない

一方で・・・

- 考える会の参加者は減少している
- 実行委員会のメンバーが多くなりすぎて、他のWGのメンバーがよくわからない

④企画・学術Gの今後の展望

ACP
意思決定支援

連携
(MCS)

災害対策
(連携も含む)

事例検討

認知症対応

- 他のWGとのコラボ
- マンネリ化しない
- 勉強会・課題に継続性を持たせ発信していく
- 参加していない人にも関心を持ってもらえるような企画を！
- 聴講だけではなく、考えて実践につながるように・・・

まとめ

- 「ACP」は一昨年～昨年度で入門編・実践編を企画し、継続して取り組んだ。今後も継続して企画予定。
- 一方、その他の勉強会は継続的な展開はできていない。
- 災害対策については、災害時の想定だけでなく、今回の新型コロナウイルス感染症対策の経験知を整理し、今後の備えや対応へ展開できるように、災害対策チームだけでなく横断的に取り組めればと考える。

参加者自身のスキルアップだけでなく、
各所属団体へ持ち帰り、広めていく役割を果たす